

研究調査報告書

教科名（社会科・公民的分野）

項目		新編 新しい社会 公民（東書・2）
教育基本法、学校教育法の下 の中学校 学習指導要領の教科の目標 とのかわり		<ul style="list-style-type: none"> ・基本的人権について、左ページに条文を掲載し、資料から理解できるようにしている。日本国憲法の学習を中核としながら、「子どもの権利」など今の自分たちにとって大切な権利も学んでいる。 ・「効率・公正マーク」が付されている箇所があり、民主主義の大切さを示している。活動の中で、さまざまな単元で効率公正を重視している。 ・政治の単元では最新の写真・新聞記事を取り上げて、我が国の政治の仕組みを理解できるようにしている。「公民にアクセス」で学習の深化をしている。 ・身近で楽しい活動が豊富である。（市長選立候補やコンビニの経営者）
特色	内容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「この章の学習を確認しよう」で、用語の確認・空欄補充、説明問題、図の中での知識整理を通して知識を身につけることができる。・章の最初に学習する主要用語をしめしている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「えんぴつマーク」で、学習のねらいを達成するためにテーマについて考える活動がある。「公民にチャレンジ」で史料活用や話し合い活動で言語活動の充実を図ることができる。 <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ちがいのちがいがい」など、人権をこれから学習する中で、イラストやグラフを通して自分の意見を考えることができ、身近なものから意欲的に学習することができる。ディベート活動や話し合い活動を多く取り入れている。資料が大きく、生徒の興味関心を高める工夫がある。 <p><民主主義に対する理解を深めさせる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「公民にチャレンジ」で選挙シミュレーションなどを取り上げており、民主主義に関する知識を深めることができる。効率と公正で、「体育館の使用」「マンションの駐輪場と駐車場のスペース」を事例として取り上げて、対立から合意を形成していくことを体験できる。 <p><国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培う工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「公民にアクセス」で、市長選・国民投票法・選挙権年齢・震災からの復興と防災など、社会参画に関する活動が充実している。新聞を読み取る活動や、ネットによる選挙運動にも触れている。
	資料	<ul style="list-style-type: none"> ・資料が大きい。左上の写真などは授業の導入で活用できるものが多い。その資料がわかりやすい。模式図・イラスト・新聞記事の活用で学習意欲を高めている。
	表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・書体の大きさが適切で、文章表現が簡潔で読みやすい。巻末に用語解説があり、重要語句が詳しく説明されている。ふりがなもこまめである。
総括		<p>模擬裁判が取り入れられているところに工夫が見られる。話し合う活動が多く取り入れられ、スキルを学びながら社会参画の基礎を養うことができる。思考力・判断力・表現力を高める工夫が見られる。地方自治に関する記述が詳細である。</p>

研究調査報告書

教科名（社会科・公民的分野）

項 目		中学社会 公民 ともに生きる（教出・17）
教育基本法、学校教育法の下 の中学校 学習指導要領の教科の目標 とのかわり		<ul style="list-style-type: none"> ・基本的人権について、判例を掲載しながら学習を進めている。差別がまだあることと、人権尊重が広がってきていることを合わせて取り上げている。自由や権利を守るために義務があるという流れで学習を進めている。 ・民主主義の理解を深めるために、生徒会活動の討論会を例に挙げており、身近で分かりやすい。日本の選挙制度・国会のしくみの中で、国民の意思を反映する重要性を示している。 ・新しく導入された裁判員制度の中の「評議評決」をシミュレーションできるページを設けている。学習内容に関連する中学生の活動を取り上げ、主権者としての意識をもたせることができる。
特 色	内 容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各章の最後に「学習のまとめと表現」があり、説明する活動・話し合い活動をすることで、知識の確実な定着を図っている。「ふりかえる」で語句の意味を確認できる。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各ページに「見てみよう」「読み解こう」があり、資料から考えたり読み取って判断して説明したりする活動がある（88）。学習を深めるためにディベートを取り上げている（58） <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読み解こう」「振り返る」では、資料の読み取りから言語活動の充実につなげている。左上の導入に活用できそうな資料には「ふきだし」のコメントが添えられており、そこから意欲的に学習を進めることができる。 <p><民主主義に対する理解を深めさせる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・民主主義を実現させていくために、政治があり、選挙権があるというのを、章の最初で明示している。図や読み物資料を活用しながら、我が国の政治について学習を深化できる。 <p><国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培う工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども議会・生徒会選挙など、身近な政治参加を示している。選挙の問題点と、選挙権を保障する制度を詳しく書いている。裁判員裁判のシミュレーション・町づくりプレゼンテーションの活動で社会参画の具体例を示している。
	資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・見開き左上に、大きく資料を掲載し、興味・関心を高め学習を進めることができる。また、資料も豊富で、「資料庫」で学習を深化できる。 ・学習のまとめの下には「資料庫」があり、より深める資料等が示されている。
	表 記・表 現	<ul style="list-style-type: none"> ・文章表現が簡潔で読みやすい。本文と資料を関連付けるために番号を付し、学習しやすくしている。
総 括		<p>点字など視覚以外の教材もあって工夫されている。見開き2ページの中で、学習課題で学習の見通しをもつことができる。「ふりかえる」で学習内容の振り返りができる。授業がしやすいように工夫されている。企業の社会的責任も詳細に取り上げられている。メディアリテラシーの扱いがていねいである。</p>

研究調査報告書

教科名（社会科・公民的分野）

項目	中学 公民 日本の社会と世界（清水・35）	
教育基本法、学校教育法の下の中学校学習指導要領の教科の目標とのかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の学習を中核とし、えん罪・平等権・社会権については「深める公民」で掘り下げており、それらを保障する制度や国民の義務もイラストを用いて具体的に説明している。 ・「深める公民」の選挙をめぐる問題で、将来選挙権を持つ生徒に選挙の大切さを考えさせている。民主政治は人権を守るために重要なことだと章の最初に説明し、その中でも間接民主制に焦点化している。 ・選挙・クレジットカード・TPPなど、公民として大切な知識は「もっと知りたい公民」で取り上げている。写真や図表で視覚的な理解を工夫している。 	
特色	<p>内容</p> <p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習のまとめ」では、重要語句がまとめられていてそれを説明することで知識を身につけ、最後は穴埋め形式で知識を整理することができる。基礎的基本的な知識の定着につながる。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「風船マーク」でその時間の学習課題について思考する活動を取り入れている。卒業論文作成の活動がある。「深める公民」で思考力を高めることができる。言語活動が充実している。 <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開きページにキャラクターが登場しクイズのようなコメントを発し、そこから意欲的に学習を進めることができる。左上の大きな資料から興味関心を高めて学習ができる。 <p><民主主義に対する理解を深めさせる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な「体育館」を分け合って使う内容を取りあげ、様々な対立から合意を形成して共生社会を築いていく過程を学習できるようになっている。人権に関する事例や判例が多く、人権尊重の意識をもって民主主義について学習を深めることができる。 <p><国民権を担う公民として必要な基礎的教養を培う工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「憲法改正」や「裁判員制度」や「核兵器根絶」など、国民として知ってほしい事柄や持っていたい価値観が示されている。復興や地域活性化で社会参画について示している。 	
	資料	<ul style="list-style-type: none"> ・写真や図表が見やすく、配色が工夫されている。その図やイラストは大きく掲載されていて、学習意欲を高め学習を進めることができる。
	表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中の語句の説明が脚注に細かく載っており、理解を高める工夫がある。資料や図表よりも文章説明で知識・理解を深めるようになっている。
総括	<p>アルバイトも含め労働者の権利を「もっと知りたい公民」で扱っている。学んだ内容を図にして分かりやすくまとめている。消費者問題も詳しい。さまざまな学習活動を提供するよりも読み物資料がとて豊富である。教科書として読んで分かりやすいが、やや情報量が少なく、深く広く学んでいく内容が少ない。</p>	

研究調査報告書

教科名（社会科・公民的分野）

項目	社会科 中学生の公民 より良い社会をめざして（帝国・46）
教育基本法、学校教育法の下の中学校学習指導要領の教科の目標とのかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的人権の学習では、関連条文を載せており、人権の理解を深めることができる。日本国憲法の学習を中核として、天皇も含めすべて平等という「平等権」から始まり差別問題も取り上げ、権利とそれを守る法律なども説明されている。 ・「トライアル公民」で権利と権利の対立から、公共の福祉をもって合意を形成していく過程を考えることができる。第1章で民主主義とは何かを学習し、そこから人権・政治の学習へとつなげている。 ・各所に「地理・歴史をふりかえる」の欄があり、各分野を統合した知識を持ってさまざまな思考し行動できるようにしている。シミュレーションなどが充実しており、主体的な学習を進めることができる。
特色	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開きページの右下「確認しよう」と「説明しよう」で、基礎的知識の意味を書き出したり説明したりすることで、知識の定着を図っている。各章の最後の「学習をふりかえろう」では、一問一答形式で語句の確認ができる。知識の確実な定着に工夫が多い。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「トライアル公民」が豊富で、単元の最後にはその内容に関連した事案を思考する活動や、発展としてディベートやKJ法でまとめるなどの活動がある。「確認しよう」「説明しよう」で、学習を文章で表現して振り返るなど言語活動の充実が図られている。 <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・表紙の裏に「私たちと公民的分野の学習」で、一生通じて公民と係ることを認識できるので、いろいろ学んでいこうという意欲を高めることができる。「クローズアップ」の資料が大きく掲載されており、興味・関心を高め学習をすることができる。 ・各章の最初に「学習の前に」があり、これから学習する内容を見開きのイラストから発見してつかむことができる。（104） <p><民主主義に対する理解を深めさせる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「中学生が社会を動かした」を例に、民主主義の学習を進めているので、理解も深まり、かつ将来の主権者としての意識だけでなく社会参画の大切さも意識できる。 <p><国民権を担う公民として必要な基礎的教養を培う工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入された裁判員制度の理解を図るために、実際の事件を題材として判決を考える活動がある。新聞を読み取るなどメディアリテラシーも取り上げられている。町づくりや防災について取り上げ、社会参画へとつなげている。
総括	<p>・「クローズアップ」で見開きページ1時間分の導入に活用できる資料が大きく左上に載っていて、意欲的に学習を進めることができる。記事も最新。</p> <p>・索引の用語を調べる際わかりやすいようにメインページが太数字になっている。実際の場面を読んで社会のしくみを理解できるようにしている。</p> <p>独占や寡占の状態を説明する図がわかりやすい。難しい内容は、イラストも添えて説明していてとてもわかりやすい。学習するうえで外せない資料が網羅され、授業を構築しやすい。また文章表現がやさしく丁寧で安心して学習を進めることができる。</p>

研究調査報告書

教科名（社会科・公民的分野）

項目	中学社会 公民的分野（日文・116）
教育基本法、学校教育法の下 の中学校 学習指導要領の教科の目標 とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的人権や国民の義務に関する記述はもちろん、裁判や刑事事件に関する人権についてもコラムなどで取り上げて、尊重の意義を説いている。基本的人権は関連条文を載せることで、理解を深めることができる。 ・さまざまな章で「対立と合意」の扱いが多いことに加え、一票の格差を「チャレンジ公民」で取り上げていて、民主主義の学習を深化している。実生活に即した学習を図解やイラストを活用して進めている。 ・ワーキングプアなど将来大人として関わる主要な問題を「明日に向かって」や「公民+@」で取り上げている。シミュレーションやディベートなど主体的な活動を通して主権者としての意識を持つことができる。
特色	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開きページの左側にこの時間の重要語句がまとめられており学習のポイントがつかめる。「学習の確認と活用」で、空欄補充・文章による説明を行うことで、知識を確実に身につけることができる。「読み取ろう」で、グラフや図の読み取り活動をし、技能を高めている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「チャレンジ公民」で、「自由」について思考する活動と、それを論理的に考えるための表現としてブレインストーミングや図解化を取り入れて学習を深化している。言語活動の充実で思考・判断・表現力を高める工夫がされている。 <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「考えよう」「伝えよう」で、各課題について個人や集団での考察や話し合い活動を取り入れ、主体的に学習することができる。「図解ナビ」で各章の導入はイラストやマンガや写真から、学習の内容を探し出す活動となっており意欲的になれる。 <p><民主主義に対する理解を深めさせる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな章で、「対立と合意」を扱うことが多く、実社会がすべて民主主義に基づいていることを理解しやすい。「チャレンジ公民」「アクティビティ」「政治ナビ」で人権とのかかわりや論理的な考え方を重視している。 <p><国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培う工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「明日に向かって」で、現在話題となっている「18歳選挙権」について学習を深化している。また「バリアフリーを目指して」で、社会参画の大切さを理解できる。
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・用語解説のページが索引の前に設置されている。幅広の図面で図表も配色が鮮明で大きく見やすい。公民の「難しい」イメージを払拭するようにイラストが豊富である。
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・索引ページで、メインとなるページは赤で示されている。本文の重要語句と資料に番号を付して関連付け、理解が深まるようにしている。脚注は語句の説明だけにとどまらず資料が豊富である。
総括	<p>点字など視覚以外の教材があるなど工夫されている。また、株式投資や金利の解説が詳しい。消費税に関する読み取り資料も分かりやすく詳しい。経済の導入の「ライフプランを作ろう」もユニークな活動である。「明日に向かって」（社会参画）「アクティビティ」（理解を深める作業学習）などのコーナーが豊富で学習者が経済活動の主体となって深めている。</p>

研究調査報告書

教科名（社会科・公民的分野）

項目	中学社会 新しい公民教科書（自由社・225）
教育基本法、学校教育法の下 の中学校 学習指導要領の教科の目標 とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・憲法に関して非常に多くのページを割いて説明している。日本国憲法の中の基本的 人権の尊重を中心に、新しい権利にも言及しており、自分たちの権利を主張するには 参政権の行使の重要性を説明している。憲法改正も詳細である。 ・「課題の探求」でディベートを取り上げており、効率や公正を大切にしつつ、さまざま な対立からどのように合意を形成していくかを学ぶことができる。 ・「もっと知りたい」で、「選挙制度」「裁判員制度」「年金制度」「領土 問題」「拉致問題」など日本として重要な課題を取り上げている。
特色	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ここがポイント」で、要点をつかむことができる。「学習のまとめ」で、最重要語句を説 明させる活動がある。要点整理と知識の確認がとていねいである。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習のまとめと発展」では、根拠や視点を明確にしなが説明する活動が示されている。 年金や安全保障などの現実の日本社会の問題を考察する活動がある。400字でまとめる課題 は、表現力を育成するうえで非常に工夫されている。 <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「もっと知りたい」という読み物資料が豊富で、調べ学習につながる。「ミニ知識」のコー ナーがあり、目の前の政治や経済のニュースともつながる。 <p><民主主義に対する理解を深めさせる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本国民としてはもちろん、グローバル社会のなかで、「世界の公民」としての在り方やど のように合意を形成してよりよい社会を築くのかを考えさせる学習がある。 <p><国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培う工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・権利や義務、政治の仕組みや経済の理論、国際社会での日本の在り方など、重要なものは図 を用いたり言葉による説明を多めにしたりなど工夫がある。男女共同参画社会・選挙制度・ 年金・企業・領土問題を詳細に取り上げ、公民としての必要な知識を身につける工夫がされ ている。
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・人物にクローズアップして学習内容にせまるという工夫がされている。チャ ート式やグラフ化など、読み取り技能が大切な資料が豊富である。
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・重要語句を太字ゴシックにし、ふりがなも添えられ、脚注もわかりやすい。 グラフが読み取りやすい。目盛りが見にくいなどのつまずきは少ない。文章 が読みやすい。
総括	<p>民法と家族で、親等図が取り上げる工夫がある。天皇の国事行為に関して詳細に載せて いる。領土問題に関する記述が非常に詳細で、再度、裏表紙に「日本の領土」を載せてい て、知識を深めることができる。年金問題の説明も詳細である。読み物資料が多く、学習 スキルを使った主体的な活動の紹介が少ない。特に地方自治における社会参画の事例が少 ない。</p>

項目		新編 新しいみんなの公民（育鵬社・227）
教育基本法、学校教育法の下の中学校学習指導要領の教科の目標とのかわり		<ul style="list-style-type: none"> ・「理解を深めよう」で、人種差別・共生社会・信教の自由・少年法など憲法で保障されている基本的人権の学習を深めている。日本国憲法の学習を中心に、法の下での平等や男女平等から始まり、人権について幅広く学習し、その後に義務を学習する流れになっている。 ・憲法改正のしくみでは国民投票を取り上げ、選挙の仕組みも投票する側から説明している。単元の中の構成が、政党のはたらき・国会・内閣の学習と工夫されており、民主主義の学習を進めやすくしている。 ・「やってみよう」では裁判員としての裁判の関わり方や、評議評決を行う活動などを行うことができる。領土問題について、政府の見解に基づき詳細に説明しており、教養を培うことができる。
特色	内容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習のまとめ」で、1ページで重要語句の確認や、図の中での基礎的知識の確認ができるようになっている。説明問題の中で、言語活動の充実を図っている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・メディアリテラシーが大切な中、大きな違いが出る「新聞の社説」を比較する活動を取り入れている。学習の振り返りで、内容を自分の言葉で説明したり調べることで、思考力・判断力・表現力を育成できる。 <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各章の最初の「〇〇の入り口」で、政党を選んでみる体験や、外交官になって国際社会の課題を解決する体験をする活動がある。人権に関する読み物教材が豊富で、興味をもって学習を進めることができる。話し合い・ディベートなど活動が豊富である。 ・人生ものさしで、公民と人生の関わりを理解することができる。 <p><民主主義に対する理解を深めさせる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・直接民主制と間接民主制を比較できるようにしている。憲法改正でも民主主義を扱っている。最新の資料で政治学習を行うことで、国民の立場から政治の仕組みを学ぶことができる。 <p><国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培う工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の防衛の課題を分かりやすく取り上げている。「理解を深めよう」で、公民として知っておくべき知識を補充している。「やってみよう」「政治の入口」で事例に基づき学習することで、主権者としての意識を持つことができる。
	資料	<ul style="list-style-type: none"> ・重要事項に関する図はとても大きく示している。学習に役立つサイトのホームページアドレスが載っている。図表の配色も鮮明である
	表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・法令集の語句で難しいものは赤太字かつ右側に説明が添えられている。ふりがなもふられている。文章も易しく読みやすく理解しやすい。
総括		<p>一票の格差と選挙制度の図がとてもわかりやすい。各章で取り上げている人物がとても豊富で興味を持つことができる。平等権に関して多くのページを割いて説明しており、人権の中でも大切な平等権を詳しく学習することができる。導入教材で身近なものを取り上げており、学習を進めやすくしている。社会参画の事例がやや少ない。</p>

社会科(公民的分野)調査資料

1 内容別ページ数

	東書	教出	清水	帝国	日文	自由	育鵬
(1)現代社会と私たちの生活							
ア 現代日本の歩みと私たちの生活	18	13	12	17	20	17	22
イ 個人と社会生活	9	10	4	10	9	17	10
(2)国民生活と経済							
ア 私たちの生活と経済	29	45	40	54	44	22	41
イ 国民生活と福祉	20	15	21	8	11	13	8
(3)現代の民主政治とこれからの社会							
ア 人間の尊重と日本国憲法の基本的原則	35	40	34	30	44	18	39
イ 民主政治と政治参加	48	44	32	41	46	31	45
ウ 世界平和と人類の福祉の増大	38	35	32	34	30	40	37
索引	7	9	3	4	8	6	3
資料ページ(巻頭・巻末)	30	25	31	24	23	33	29
総ページ数	248	248	223	232	249	232	248

2 取り上げている具体的事例(箇所数)

	東書	教出	清水	帝国	日文	自由	育鵬
(1)現代社会と私たちの生活							
ア 現代日本の歩みと私たちの生活	74	36	35	41	62	24	111
イ 個人と社会生活	9	13	15	53	15	18	7
(2)国民生活と経済							
ア 私たちの生活と経済	81	70	53	77	48	39	128
イ 国民生活と福祉	37	34	31	14	30	21	22
(3)現代の民主政治とこれからの社会							
ア 人間尊重と日本国憲法の基本的原則	95	83	58	47	72	29	67
イ 民主政治と政治参加	92	82	33	107	73	59	63
ウ 世界平和と人類の福祉の増大	92	71	43	75	67	54	58

3 項目別ページ数

	東書	教出	清水	帝国	日文	自由	育鵬
発展的な学習	2 2	2 0	4 4	2 0	3 4	4 2	2 4
学び方・調べ方	9	6	2	5	1 1	1 0	1 6

4 項目別資料数

	東書	教出	清水	帝国	日文	自由	育鵬
地図	2 1	1 5	1 1	2 3	1 8	2 1	1 3
さし絵	1 5 3	8 7	3 3	1 6 1	7 2	4 8	6 7
写真	4 2 5	2 6 3	2 1 1	4 6 1	3 2 1	2 0 8	4 2 1
統計資料	1 3 3	1 2 1	1 0 6	1 5 2	1 1 0	6 3	8 4
読み物資料	1 1 4	5 2	3 4	1 0 8	6 2	4 6	5 6
学習のまとめ	5	5	5	1 6	5	6	5
折り込み図版	0	0	0	0	0	0	1
注記の数	2 9 2	1 9 3	2 0 7	3 0 1	1 7 2	1 8 6	4 6
索引の項目	5 8 1	4 8 1	4 6 4	7 0 4	6 4 0	5 4 4	5 3 6

5 テーマ別一覧

	東書	教出	清水	帝国	日文	自由	育鵬
平等権・差別 (ページ数)	8	6	6	6	6	2	1 0
地方自治 (ページ数)	1 4	1 0	6	1 2	1 0	4	8
悪徳商法の種類 (事例数)	6	0	3	0	4	3	4
需要と供給	図・特設 ページ	図・特設 ページ	図	図	特設作業	図	図
領土問題 (ページ数)	4	2	1	2	1	5	4
防災 (ページ数)	4	4	2	3	3	0	5
持続可能社会 (ページ数)	5	8	3	2	4	6	6